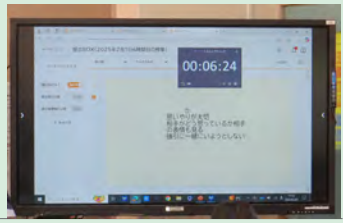
「マンガで考える “みんなのキモチ” これって、いじめ？」

授業展開例【１】（45 分）

テーマ	「友だちといつもいっしょはつらい？」（１巻『友だち』より）	市原市立石塚小学校 ４年１組 下大澤翔吾先生 2025 年２月１日

時間	学習活動	ツール ／ 備考
3 分	マンガを音読 ・前方のスライドにマンガを投影（1/2 ページごと、４回切替） ・子どもたちはスライドに集中	スライド
3 分	感想を話し合う（着席のまま） ・この話を聞いてどう思ったか、近くの友だちと感想を話し合う	
3 分	感想を発表（挙手→途中からは挙手なしで発言をひろう） ・複数人の意見を聞く ・キーワードを板書／発言の誘導	板書
3 分	自分なら A、B、C のどの意見に近いか３択から選び、タブレット「みんなのボード」に提出 ・前方のスライドに A、B、C の３択を大きく投影 ・黒板にも A、B、C の３択を貼る（後にその横に、出た意見を書いていく） ・集計結果は、グラフで瞬時にスライドに表示 ・提出を終えたら、しばらくタブレットは使わないので閉じておく ・このタイミングで、ワークシート（B4）を配布	スライド タブレット
5 分	ワークシートに記入 ・自分の意見を書いてみよう／どうしてそう思うの？／心配なことはある？	ワークシート（B4）
5 分	ワークシートに記入したことをもとに、席を立ち、いろいろな友だちの意見を聞く ・５人の友だちと意見交換することが目標	
6 分	意見を発表（挙手） ・「A～C の中で選んだもの」「選んだ理由」を発表。板書で３択ごとにまとめていく ・意見に対して、適宜先生が誘導「友だちはカオルだけじゃいけないの？」など	板書
5 分	「ほかの人のキモチは？」のマンガを、前方のスライドで見る ・先生がスライドを示しながら音読後、「他の登場人物の気持ち」をみんなで考える →出た発言を板書	スライド 板書
7 分	タブレットを開く。「友だちとの関わりについて大切なことは、なんだと思うか」と問い、新しいカードに意見を自由に記入。提出 Box に入れる ・名前は非公開 → 挙手をためらう子も思っていることを書け、より多くの意見を知れる ・１回提出しても、追加で提出できる ・前方のスライドに、提出されたみんなの意見を表示していく ・提出された意見を順次読み上げ、先生が適宜コメント ・提出した人は、タブレット上で、ほかの人の意見を見られるように設定 （書いている間は、ほかの人の意見は見ることはできない）	スライド タブレット 
5 分	解説ページのプリントを配布　＆　前方スライドに表示 ・要点の箇所を、先生が音読。子どもたちは手元のプリントを見ながら考える。 ・まとめの観点から、意見を導き出す。着席したまま子どもたちが次々発言。	解説ページのプリント資料 スライド